

# 梅田リーグ(ティーボール)野球規則

## 【01】球場施設

塁間=18.29m、ピッチャー=14.02m、本塁-2nd=25.82(25.86)、  
ボールデッドサークル(ピッチャーサークル)=直径2m、ファウルライン=本塁から4.5m、ホームランライン=左翼36m 中堅42m 右翼36m

## 【02】使用球

ZETT製 BB1400 を使用する。

## 【03】バッティングティースタンド

上下に伸縮し、本塁ベースに安定して置くことができる打撃ティースタンドを使用する。

## 【04】用具・衣服

各野球団体に規則に適合したグラブ・バット・シューズを使用する(トス同様スパイクシューズは任意)。  
新入部員(体験者)・混成チームを除き、帽子・ユニフォームは統一したものを着用する(背番号は必須)。  
バットは、トスと同様、JSBBマーク付きの金属バット 又は木製バット。

## 【05】チーム編成

登録された3年生以下で編成されたチーム(新入部員(体験者)・新入団の4年生も調整で可とする)。  
成人の監督(責任者)1人と、任意のコーチとする。

## 【06】試合中のコーチング

攻撃：一・三塁コーチアボックスで選手に指示を与えるほか、一人は主審の横で打者を指導(任意)。  
その他は一般野球と同様とする。

## 【07】選手・交替

試合は9人で行うが、当日のチーム調整で11名までの編成でもプレーする。交替した選手の復帰は不可とする。

## 【08】審判

チーム編成やリエントリー制採用：試合前に関係者で決定して運用することとする。

4人で行う(3人制でも良い)。  
主審は当該チーム以外、塁審は出来るだけ当該チームで対応する。その都度調整。  
主審は判定に最終的な権限を持つ。また主審はティースタンドの上にボールを乗せる他、本塁でのプレーが予測される場合、事前にティースタンドを走者の進路外へ移動する。

## 【09】試合

- ・6イニングス、または30分の時間制限とする(30分を超えて次のイニングに入らないが、そのイニングは成立させる)。  
但し、後攻チームの勝利が確定している場合は、Xゲームとして終了する。
- ・3アウト制を優先し、3アウトにならない場合は(打者一巡)で攻守交代とする。
- ・同点の場合は引分けとする。

## 【10】集合

前試合が終了したら、適宜集合する。但し前チームの片付けが終了してからベンチ入りすること。

## 【11】試合開始

両チームの試合前に主将のジャンケンで攻守を決める。  
守備が定位置についたら、主審がティースタンド上にボールを置き必ず「プレーボール」を宣言する。  
その後、ピッチャーは投球動作を行い、打者はその終了後にティースタンドのボールを打つ。

## 【12】バッティング動作について

打者はフルスイングをすること。

## 【13】ファウルボール

野球のファウルボールの他に、次の2点を追加する。  
(1)打球がホームから4.5mのファウルゾーンに止まった時。  
(2)打者がバント・ハーフスイングでボールを打った時。

## 【14】三振

2ストライク後、バットがボールに直接当たらない場合は三振とする。

## 【15】バッタランナー・ランナー

1st.はスライディング禁止。他塁はスライディング可とするがヘッドスライディングは禁止とする。  
ランナーはバッターがボールを打つまでは離塁してはならない。審判が早いと認めた時はアウトとする。

## 【16】ボールデッド

打撃によるプレーが終了し、選手がピッチャーサークル内でボールを保持した時。  
この時点で走者は塁に触れていなければならない。ボールデッドになった時点で、走者が塁間にいるときは進塁できず手前の塁に戻る。  
3アウト時は、ボールデッドと同じ扱いで良い。

## 【17】ヘルメット

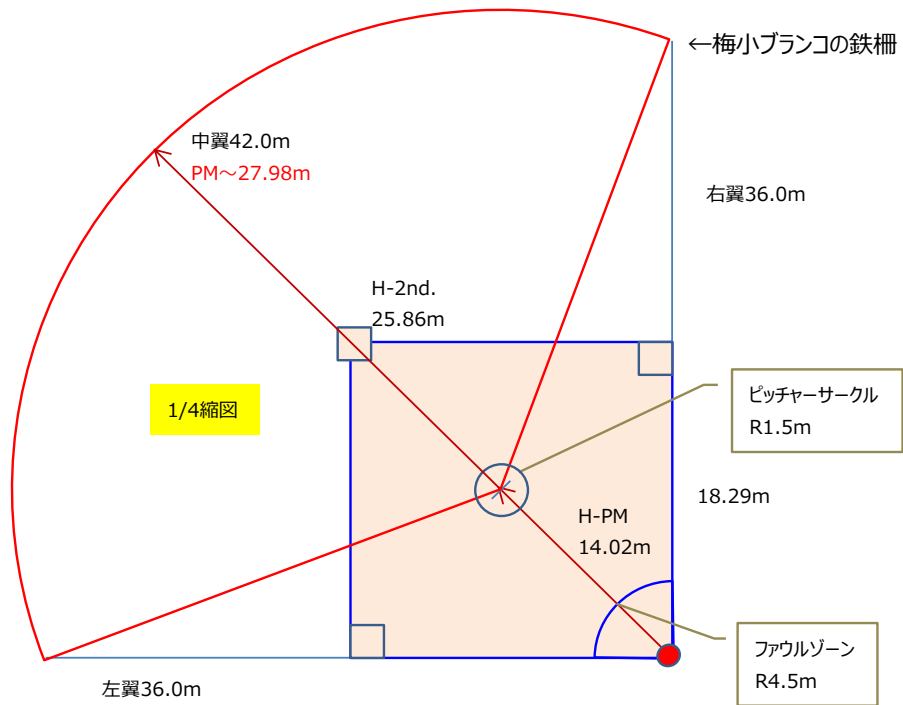
打者・走者ともヘルメット(両耳保護付き)を着用する。捕手も同ヘルメットを着用して守備に就く。

## 【18】特別ルール

打者一巡時の最終バッターは、アウトカウントを2アウトとする。

## 【19】その他

5チームの場合、30+5分(インターバル)×5試合実施で約3時間。各チーム2試合実施する。  
ルール：日本ティーボール協会神奈川県連盟・神奈川ナショナルティーボール連盟(神奈川県野球協議会)に準ずる。



|            |        |           |   |          |
|------------|--------|-----------|---|----------|
|            |        | Excel上の寸法 | 4 | 1.414214 |
| 塁間         | 18.29m | 4.57 c m  |   |          |
| ピッチャーマウンド  | 14.02m | 2.48 c m  |   |          |
| H-2nd.     | 25.86m | 4.57 c m  |   |          |
| 中翼         | 42.00m | 7.42 c m  |   |          |
| 右左翼        | 36.00m | 9.00 c m  |   |          |
| PM~センター    | 27.98m | 4.95 c m  |   |          |
| ピッチャーサークルD | 2.00m  | 1.00 c m  |   |          |
| ファウルゾーン    | 4.50m  | 2.25 c m  |   |          |

2023/6/2

2024/3/17

2023/6/2関係者へメール 2024/3/17総会で展開

【07】今後の協議事項：リエントリー制を可能にしても良いのではないかな？ コロナ禍、選手不足などで2019-22で採用していた。

→チーム編成やリエントリー制：当日の試合前に関係者で協議して決めることとする(2024/3/17)。

2018/5/14

2018/5/14関係者へメール

【01】球場施設：2017スポ少ティー大会ルールに合わせる。

訂正)塁間=18.29m、ピッチャー=14.02m、本塁-2nd=25.82(25.86)、

ボールデッドサークル(ピッチャーサークル)=直径2m、ファウルライン=本塁から4.5m、ホームランライン=左翼36m 中堅42m 右翼36m

従来)塁間=18.3m、ピッチャー=14.2m、ファウルライン=4.5m、ボールデッドサークル(ピッチャーサークル)=1.5mとする。

2015/5/1

2015/5/2梅田L幹事会で説明。

題目：2014年度梅田リーグ秋季大会(ティーボール)野球規則→梅田リーグ(ティーボール)野球規則 変更。

【05】 新入団の未経験4年生・・・未経験者を外す。元々誤字～のみ経験者と記述。

25.86572

【07】 選手は交替しても復帰できる→交替した選手の復帰は不可とする。に変更。

【13】 ファウルボール規定。3点→2点。ボールに当たらずティー台を打った時はストライクのため除外。【14】三振の項との矛盾を解消。またファウルライン→ファウルゾーンに変更。

【15】 項目を「離塁」→「バッタランナー・ランナー」に変更。：項目変更は、幹事会では説明していない。

スライディングに関する進塁の規定を追記。

【16】 サークル内→ピッチャーサークル内に変更。

【17】 打者・走者ともヘルメット着用を義務付ける。

【18】 (最終バッター)→打者一巡時の最終バッターに変更。

【19】 打撃の項を削除。【20】その他 →【19】に繰り上げ。

参加者全員が順番に打撃する。← 特に規定する必要なし。

初版

→

2014.10/29

【13】 ファウルボールと三振の規定(案)を追記。メモとして残す。

【14】 同上。